

日本物理学会 2025 年春季大会
領域 7 インフォーマルミーティング議事録

日時: 2025 年 3 月 21 日 (金) 18:00~19:00

場所: Zoom 開催

主催: 領域 7 運営委員

参加者: 22 人

【議事目次】

1. 学生優秀発表賞 表彰式
2. 現領域代表、副代表、運営委員の紹介
3. 次期領域代表、副代表、運営委員の紹介
4. 次々期領域運営委員の選出・承認【審議事項】
5. 前回の審議事項「概要英語化、サポートレター」の現状について
6. 試行期間に入る計算領域について【審議事項】
7. オンライン大会でのポスターセッションのあり方について【審議事項】
8. 80 周年記念国際シンポジウムに関して
9. 同時翻訳字幕機能の導入について【審議事項】
10. 各種賞の締め切りなど
11. 若手活動への支援について
12. 今後に予定されている各種学会会合の連絡
13. 次回大会に向けて

1. 学生優秀発表賞 表彰式

領域 7 の口頭発表の中から事前に学生優秀発表賞への応募があったものを対象に、審査が行われた。領域代表・副代表・運営委員から 6 名に審査を依頼し、以下の観点で審査を行った。

- ・研究内容(研究の意義・新規性、妥当性)
- ・プレゼンテーション(発表資料の構成、伝わりやすさ)

その結果、下記 1 名(審査対象 6 名)を受賞者として選出した。

建石 朋美さん (放送大学)

「カイラル螺旋結晶における電子・カイラルフォノン相互作用の理論」
インフォーマルミーティングで表彰式を行った。

2. 現領域代表、副代表、運営委員の紹介

現領域代表:

久保園 芳博 先生（岡山大基礎研）【任期:2024 年 4 月～2025 年 3 月】

領域副代表:

中澤 康浩 先生（阪大理）【任期:2024 年 4 月～2025 年 3 月】

領域運営委員:

須波 圭史（産総研）【任期:2024 年 4 月～2025 年 3 月】

清水 直（富山県立大工）【任期:2024 年 4 月～2025 年 3 月】

杉浦 栞理（東北大金研）【任期:2024 年 10 月～2025 年 9 月】

溝口 知成（筑波大数理）【任期:2024 年 10 月～2025 年 9 月】

が紹介された。

3. 次期領域代表、副代表、運営委員の紹介

次期領域代表:

中澤 康浩 先生（阪大理）【任期:2025 年 4 月～2026 年 3 月】

次期領域副代表:

竹谷 純一 先生（東大新領域）【任期:2025 年 4 月～2026 年 3 月】

次期領域運営委員

杉浦 栞理（東北大金研）【任期:2024 年 10 月～2025 年 9 月】

溝口 知成（筑波大数理）【任期:2024 年 10 月～2025 年 9 月】

高木 里奈（東大物性研）【任期:2025 年 4 月～2026 年 3 月】

川上 拓人（阪大理）【任期:2025 年 4 月～2026 年 3 月】

が紹介された。

4. 次々期領域運営委員の選出・承認【審議事項】

次々期領域運営委員【任期:2025 年 10 月～2026 年 9 月】として、

中村 優斗（名大工）

小澤 大知（NIMS）

が選出され、承認された。

5. 前回の審議事項である「概要英語化、サポートレター」の現状について

以下に記す、領域委員会における現段階での共通認識がアナウンスされた。

① 概要英語化

全体を見ると、以下の 2 点に集約される。

- ・領域による温度差が大きく、賛否が別れている
- ・全体として現状維持を推す声が多く、完全英語化には否定的

その他の個別な意見としては、

- ・学生や教員の負担に配慮し、日本語を選択できるように
- ・英語を推奨しては？

- ・概要提出率(発表件数)が下がるのでは？
- ・国際化につながり、外国からの参加者が増えるだろう
- ・すでに精度の高い翻訳ツールがある。無理に英語化する必要なし
- ・英語化はダイバーシティ向上につながらない
- ・概要どころか発表も英語かすべし
- ・領域 13 は日本の物理教育を対象としているので、英語化はそぐわない

などが挙げられている。

② サポートレター

以下、すでに出ている物理学会からのアナウンス

「日本物理学会では、これまでプロジェクトや組織に対するサポートレターを出しておりませんが、理事会で慎重に議論を重ねた結果、一定の条件のもとでサポートレターを出せることといたしました。詳細は、「会員ページ/会員専用コンテンツ/理事会からのお知らせ」をご覧ください。」

6. 次回大会より試行期間に入る「計算領域」について【審議事項】

学会事務局から以下の情報が共有され、それを基に審議を行った。

- ・第 80 回年次大会から 3 年間、試行期間に入る
- ・試行期間中は年次大会でのみ講演を募集
- ・試行期間中は若手奨励賞・学生優秀発表賞の受賞は行わない
- ・各領域の講演数が減らないように、すべて合同セッションとする
- ・「高性能計算」「計算アルゴリズム」「データ駆動科学」という合同セッションを検討中

【審議事項】物理学会より、「合同領域の希望の有無について」、領域 7 としては以下の 1~8 のどのようなスタンスかの問い合わせがあった。

1. 3 つすべてのテーマとの合同領域を希望する
2. 「高性能計算」「計算アルゴリズム」の 2 つの合同領域を希望する
3. 「高性能計算」「データ駆動科学」の 2 つの合同領域を希望する
4. 「計算アルゴリズム」「データ駆動科学」の 2 つの合同領域を希望する
5. 「高性能計算」のみ合同領域を希望する
6. 「計算アルゴリズム」のみ合同領域を希望する
7. 「データ駆動科学」のみ合同領域を希望する
8. 計算物理領域との合同領域を希望しない

審議の結果、領域 7 としては、1 で返事することとした。

7. オンライン大会でのポスターセッションのあり方について【審議事項】

以前に学会事務局より回答を求められたアンケートの結果は、オンラインでのポスター発表に否定

的な意見が4割以上を占めた。具体的な意見として

- ・「オンラインに特化した講演方式があると良い」という意見が多かった。
- ・「ショートプレゼンテーション(+ブレイクアウトルーム)」や「ショート動画の事前投稿(+コメント欄での質疑)」

などが挙げられたようである。

このため、2026 年春季大会以降に「ポスター発表に代わる発表形式」の導入を視野に検討することとなったようである。

【審議事項】これに伴い、「領域インフォーマルミーティングでも本件をご議論いただき、可能であれば何かしらの「ポスター発表に代わる発表形式」の案をご提案」してほしいとのこと。

審議の結果、時間内には特に意見は出なかったため、後日、なにか思いついた場合は個別に連絡していただくこととした。

8. 80周年記念国際シンポジウムに関して

日本物理学会誕生 80 周年の記念行事として、2026 年 9 月に東京大学(駒場キャンパス)で開催される第 81 回年次大会(2026 年)の前日(9 月 13 日)に 80 周年記念国際記念シンポジウムを開催され、大会期間中に国内外の研究者によるサテライトセッション(英語によるシンポジウム)を行うことがアナウンスされた。

9. 同時翻訳字幕機能の導入について

以下の項目がアナウンスされた。

- ・試行的に、2025 年春季大会にて Zoom の同時翻訳字幕機能を導入することになった。
- ・聴講者側で表示の有無や言語設定が可能で、座長や運営委員のほうで何か操作や指示をすることは無い。
- ・物理学会としては、積極的に参加者に利用を促すものではないが、「何かしらのフィードバックがあると今後の運用指針になりますので、本機能を使ってみた感想など」があれば、報告してほしいようである。

本件について参加者から、メーリングリストに流して外国人留学生などに使ってみた感想を聞いてみるのいいのでは、との意見があった。

10. 各種賞の締め切りなど

AAPPS C. N. Yang Award・米沢富美子記念賞・日本物理学会若手奨励賞・日本物理学会論文賞について、応募締切などのアナウンスがあった。

- ・AAPPS C. N. Yang Award 2025 年 6 月中旬(予定)
- ・米沢富美子記念賞 2025 年 10 月中旬(予定)
- ・日本物理学会若手奨励賞 2025 年 7 月中旬(予定)
- ・日本物理学会論文賞 2025 年 10 月中旬(予定)

11. 若手活動への支援について

若手・学生研究グループへの、物理学会の支援活動が紹介された。活動の宣伝に使えるので、是非積極的に登録してください、とアナウンスされた。

また共催・協賛等の申請についても紹介され、特に若手による研究会の開催などについて、今後、いろいろなサポートがある可能性があるので積極的に申請するように、とアナウンスされた。

12. 今後の学術会合について

以下の4つの会議が紹介された。

① RPGR 2025（筑波大 岡田先生よりご紹介）

日程:2025/11/3-7、開催場所:富山

② ISCOM 2025（分子研 山本先生よりご紹介）

日程:2025/9/28-10/3、開催場所:豊橋/岡崎

③ YSCOM 2025（東北大金研 杉浦先生よりご紹介）

日程:2025/9/26-28、開催場所:岡崎

④ Pacificchem 2025 分子性固体シンポジウム（東大 橋本先生よりご紹介）

日程:2025/12/19-20、開催場所:ハワイ・ホノルル

13. 次回以降の大会について

・次回:第80回年次大会

開催場所:広島大学(東広島キャンパス)

期日:2025年9月16日(火)~19日(金)

・次々回:2026年春季大会

開催場所:オンライン開催

期日:2026年3月23日(月)~26日(木)

・次々々回:第81回年次大会

開催場所:東京大学(駒場キャンパス)

期日:2026年9月14日(月)~17日(木)

が報告された。

最後に領域代表より、今回はオンラインということもあり前回より講演者数が大幅に減っているので、引き続き参加者を増やす努力をすべき、とのコメントがあった。

その方策として参加者から、オンラインでもシンポジウムなどはその講演者だけでもある場所に集まって、ミニ研究会のような形にするのも一つのやり方かもしれない、とのことコメントがあった。

以上